

3. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

本校は平成27年度にスーパーグローバルハイスクールに指定されて以来、国連のSDGs 17項目に関連する課題研究に国際文化科全体で取り組んできた。また、学校全体としてボランティア活動への参加の奨励や、JICA 青年海外協力隊員と連携してルワンダとの Skype 交流など多くの希望者による活動も行ってきた。今回は、昨年度のグローバル課題研究Ⅰの研究テーマの紹介、学校が認定するボランティア活動等を30時間以上行ったものに1単位認定を行うグローバル活動Ⅰ&Ⅱとその中でも通年で行っている模擬国連活動、大阪 ASPnet の取り組みで参加した熊本震災支援学習会及び日中韓 ESD-GAP 推進ワークショップ2016、ユネスコ協会が主催するESDパスポートの取組みについて述べる。

今年度の課題研究のテーマは次の通りであった。

1班	世界の貧困の子供たち
2班	日本の子供の貧困問題について
3班	日本の貧困のために私たちができること
4班	相対的貧困～子供の貧困～
5班	飢餓と穀物
6班	Condition of the Philippines
7班	効率的な野菜の取り方
8班	乳児死亡率について
9班	スポーツを楽しむ～若者のスポーツ不足～
10班	日本の若者の HIV 感染者を減らすこと
11班	飼い主のいないペット～殺処分を“ゼロ”に～
12班	日本の奨学金制度～大学へ進学する高校生へのメッセージ～
13班	バングラデシュの子供達が小学校教育を受けるために
14班	世界のいきすぎた教育
15班	サービス残業をなくすために私たちができること
16班	奨学金について
17班	奨学金に関する問題を解決するために私たちができること
18班	女性の社会的環境について
19班	女性従業員の思いと企業の思いの関係性について
20班	世界中にきれいな水を
21班	新エネルギーの可能性
22班	障がい者の働く環境
23班	日本における外国人差別について
24班	持続可能社会へ、今僕たちができること
25班	ごみ問題について
26班	ごみ発電
27班	浜寺公園駅の保全と活動
28班	地球の災害対策
29班	日本における食料廃棄率
30班	食料廃棄

3 1 班	沖縄のサンゴを守ろう～豊かな海のために～
3 2 班	海のゴミによる様々な影響
3 3 班	うなぎを救うために出来ること
3 4 班	オランウータンのためにできることから学ぶ今後の生き方
3 5 班	獣害
3 6 班	SRI で考える課題解決
3 7 班	世界平和への一歩～偏見をなくす～
3 8 班	企業力で世界を変える
3 9 班	キャリア教育を通して幸せのための自己実現を行う

国際文化科2年生160名が Sustainability の重要性をしっかりと理解し、SDGs のそれぞれ関心のある項目について研究し、来年度は自分たちが考えた問題解決のアクションプランを実践することになっている。

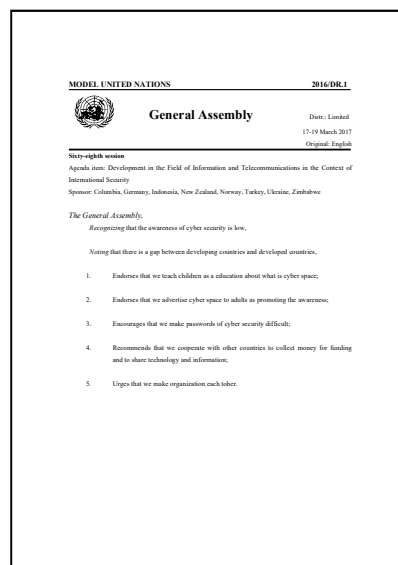
今年度のグローバル活動Ⅰ及びⅡの内容は次の通りである。

校内模擬国連活動【通年】
関西学院世界市民明石塾
ボルネオ保全トラストと環境保全における企業の役割【講義】
マレーシア Satiawangsa 高校との S k y p e 交流
熊本震災支援学習会【A S P n e t の活動】
日中韓小中高校生交流【A S P n e t の活動】
S G H 東京研修
模擬国連大会【大和大学】
国際シンポジウム【清風南海高等学校】
ユネスコ協議会 E S D パスポート体験発表会 【ワンワールドフェスティバル for Youth】
大阪マラソンボランティア
S G H 国際理解・科学フォーラム【本校主催】
S G H 甲子園

今年度は大和大学や清風南海高等学校で行われた大会など外部機関が主催する活動に参加することを意識した。SGH 東京研修では、種の保全等の生物多様性に取り組んでいる横浜ズーラシアにおいて、ウガンダ動物園から研修で来日している飼育員とも交流し、参加した1年生にとっては来年度の課題研究で課題設定を行う際の参考になったと考える。



模擬国連活動は、1年生の希望者を対象に行っているもので、国連組織、国際情勢、会議の進行方法、決議案の作成などについて講義やワークショップ形式で土曜日（通年）に指導している。毎年、全日本高校模擬国連で扱われる議題を取り上げて3月に校内で模擬国連大会を開催し、決議文を作成している。平成28年度はCyber Securityについて会議を開催し、決議案を作成した。



大阪 ASPnet による熊本支援学習会では、堺市消防局の坂本雄亮氏より現地の状況を学び災害支援のあり方を学んだ。学んだ内容をもとに参加校と連帯声明作成に協力した。12月23、24日に大阪府立 I-site なんばで行われた交流会準備のため、10月から4回の準備セミナーに参加し、国際交流の心構えや来日するユネスコスクールの学生さんたちをどのような交流を行うか話し合い準備を行った。交流当日は、本校でのESDに関する取組みを発表し、参加者全員でESDの理念を広く人々に理解してもらい、またその理念を実践するにはどうすればよいかについて話し合った。その話し合った内容を各グループで表現できるダンスを作って互いに披露した。



ユネスコ協会 ESD パスポートの取組み紹介として、12月23日に行われたワンワールド for youthにて本校の代表生徒が、大阪ボランティアに参加した経験と、トビタテ！留学 JAPAN に参加したガーナで国際ボランティアを行った体験を

発表し、冊子にも報告書として掲載した。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（）